

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 1 区分
 【発行日】平成22年10月28日 (2010.10.28)

【公開番号】特開2009-68926(P2009-68926A)
 【公開日】平成21年4月2日 (2009.4.2)
 【年通号数】公開・登録公報2009-013
 【出願番号】特願2007-236033(P2007-236033)
 【国際特許分類】

G 0 1 B 5/20 (2006.01)

【F I】

G 0 1 B 5/20 D

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月8日 (2010.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

眼鏡フレームの上下方向から押圧し、左右のレンズ枠の上下方向の位置を決めるために対向して開閉される上側スライダー及び下側スライダーを有すると共に、左右のレンズ枠をクランプピンでクランプするために、前記上側スライダー及び下側スライダーのそれぞれに設けられた左レンズ枠用クランプユニット及び右レンズ枠用クランプユニットを有するフレーム保持機構と、フレーム保持機構に保持されたレンズ枠の溝に挿入される測定子を有し、該測定子の移動を検出することによりレンズ枠の形状を測定する測定ユニットと、を備えるレンズ枠形状測定装置において、前記上側スライダー及び下側スライダーの内で少なくとも操作者側に配置されたスライダーは、前記左レンズ枠用クランプユニットが設けられた左スライダーと右レンズ枠用クランプユニットが設けられた右スライダーとに分離されているか、又は左スライダーと右スライダーが前記クランプピンのクランプ位置より低い位置にある連結部材により連結されていることを特徴とするレンズ枠形状測定装置。

【請求項 2】

請求項 1 のレンズ枠形状測定装置において、前記右スライダー及び左スライダーが対向するそれぞれの側面は、前記クランプピンの近傍に形成されていることを特徴とするレンズ枠形状測定装置。

【請求項 3】

請求項 2 のレンズ枠形状測定装置において、前記右スライダーの前記クランプピンが位置する周辺の高さは右スライダーの右端側より低く形成され、前記左スライダーの前記クランプピンが位置する周辺の高さは左スライダーの左端側より低く形成されていることを特徴とするレンズ枠形状測定装置。

【請求項 4】

請求項 1 のレンズ枠形状測定装置において、デモレンズ又は型板の玉型を測定する際に使用されるレンズ保持治具を取り付けるための取付部であって、操作者から見て奥側に位置する前記スライダーよりもさらに奥側に配置された取付部を備えることを特徴とするレンズ枠形状測定装置。

【請求項 5】

請求項 1 のレンズ枠形状測定装置において、前記上側スライダー及び下側スライダーは、

それぞれ前記左レンズ枠用クランプユニットが設けられた左スライダーと前記右レンズ枠用クランプユニットが設けられた右スライダーとに分離され、
前記フレーム保持機構は、前記上側スライダーの左スライダーと下側スライダーの左スライダーとを開閉移動させる第１移動機構と、前記上側スライダーの右スライダーと下側スライダーの右スライダーとを開閉移動させる第２移動機構と、を備えることを特徴とする
レンズ枠形状測定装置。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００６

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００６】

上記課題を解決するために、本発明は以下のような構成を備えることを特徴とする。

(１) 眼鏡フレームの上下方向から押圧し、左右のレンズ枠の上下方向の位置を決める
ために対向して開閉される上側スライダー及び下側スライダーを有すると共に、左右の
レンズ枠をクランプピンでクランプするために、前記上側スライダー及び下側スライダーの
それぞれに設けられた左レンズ枠用クランプユニット及び右レンズ枠用クランプユニット
を有するフレーム保持機構と、フレーム保持機構に保持されたレンズ枠の溝に挿入される
測定子を有し、該測定子の移動を検出することによりレンズ枠の形状を測定する測定ユニ
ットと、を備えるレンズ枠形状測定装置において、

前記上側スライダー及び下側スライダーの内で少なくとも操作者側に配置されたスライダ
ーは、前記左レンズ枠用クランプユニットが設けられた左スライダーと右レンズ枠用クラ
ンプユニットが設けられた右スライダーとに分離されているか、又は左スライダーと右ス
ライダーが前記クランプピンのクランプ位置より低い位置にある連結部材により連結され
ていることを特徴とする。

(２) (１)のレンズ枠形状測定装置において、前記右スライダー及び左スライダーが
対向するそれぞれの側面は、前記クランプピンの近傍に形成されていることを特徴とする
。

(３) (２)のレンズ枠形状測定装置において、前記右スライダーの前記クランプピン
が位置する周辺の高さは右スライダーの右端側より低く形成され、前記左スライダーの前
記クランプピンが位置する周辺の高さは左スライダーの左端側より低く形成されているこ
とを特徴とする。

(４) (１)のレンズ枠形状測定装置において、デモレンズ又は型板の玉型を測定する
際に使用されるレンズ保持治具を取り付けるための取付部であって、操作者から見て奥側
に位置する前記スライダーよりもさらに奥側に配置された取付部を備えることを特徴とする
。

(５) (１)のレンズ枠形状測定装置において、前記上側スライダー及び下側スライダ
ーは、それぞれ前記左レンズ枠用クランプユニットが設けられた左スライダーと前記右レ
ンズ枠用クランプユニットが設けられた右スライダーとに分離され、

前記フレーム保持機構は、前記上側スライダーの左スライダーと下側スライダーの左スラ
イダーとを開閉移動させる第１移動機構と、前記上側スライダーの右スライダーと下側ス
ライダーの右スライダーとを開閉移動させる第２移動機構と、を備えることを特徴とする
。